

地震

津波

に備えよう

！

被害を最小限に
一日も早い復興のために

松茂町津波防災センター

南海トラフ地震

津波防災ハザードマップ



松茂町

「緊急地震速報」に注意しましょう！

緊急地震速報は、報知音とともに、以下のメディアから発表されます。

緊急地震速報は、気象庁が震源や規模、予想される揺れの強さを自動計算し、強い揺れが始まる前に知らせるシステムです。予想される震度が、5弱を超えたときに発表されます。

テレビ ラジオ 携帯・スマートフォン



防災行政無線

受信端末など



(報知音)
緊急地震速報です。
強い揺れに警戒してください。

緊急地震速報に気づかなかったときでも・・・

突然強い揺れを感じたときも行動は同じです。

地震の揺れを感じる前に緊急地震速報を見聞きした時も、緊急地震速報を見聞きする前に地震の揺れを感じた時も、行動は同じです。

松茂町からも津波警報等をお知らせします。



屋外子局設備



戸別受信機

津波避難の開始

①玄関のドアをあける。

- 避難のための出口を確保します。

②家族の安全を確認し、避難準備を行う。

- 家族に声をかけ、持ち出し袋や服装を準備します。

③火元を確認し、ブレーカーを落とす。

- 火事は地震の最も大きな二次災害です。

④落ち着いて、避難先と避難の道順を頭に浮かべる。

- まずは落ち着くことが大切です。

揺れ始めから
5分程度で
避難開始！

揺れが収まった後、すみやかに避難開始できるように普段から準備しましょう！

津波から逃げる！

津波避難の三原則

東日本大震災で生徒・児童が奇跡的に助かった「釜石の奇跡」。この大きな要因となった市の防災教育では、次の三つの原則を教え続けてきました。

●想定にとらわれるな

- 想定を超えた災害の可能性もあり、ハザードマップや被害想定にも限界はあります。
- 「ここまではこないだろう」は危険です。

●最善を尽くせ

- 避難の時に可能な最善をつくすことが重要です。
- 最善とは、より高く、より遠くへ避難することです。

●率先避難者たれ

- 自分が率先して避難すれば、その姿を見て周囲の人もついてきます。
- 自分だけが助かる、のではなく結果的にたくさんの人の命を救うことにつながるのです。

自らが率先して避難！

あなたの避難に続く多くの人の命を救うこととなります。

緊急地震速報を聞いたり、強い揺れを感じたら

屋内

●自宅

- 机などの下に入る(座布団などで頭部を守る)。
- 素足では歩かない。
- 出口の確保(火の始末は強い揺れが収まってから)。

●スーパーやコンビニ

- 持ちもので頭部を守る。
- ガラスや倒れそうなものそばから離れる。

●職場や学校

- 机などの下に入る(座布団などで頭部を守る)。
- ロッカーなどの転倒や落下してくるものに注意する。

●アパートやマンション

- 机などの下に入る(座布団などで頭部を守る)。
- 出口を確保する。
- 階段を使って避難する。

屋外

●路上

- 持ちもので頭部を守る。
- 落ちてきそうなものや倒れそうなものそばから離れる。

●自動車の中

- あわててスピードを落とさない。
- 大きな揺れを感じたら、道路の左側に停車する。
- 揺れが収まるまで車内にとどまる。

●バスの中

- 手すりやシートに両手でしっかりつかまる。
- 揺れが収まるまで車内にとどまる。

●海や川の近く

- 水辺からすぐに離れて安全な場所に避難する。
- 車での避難は極力避ける。

① 緊急地震速報

② 津波からの避難

南海トラフ地震

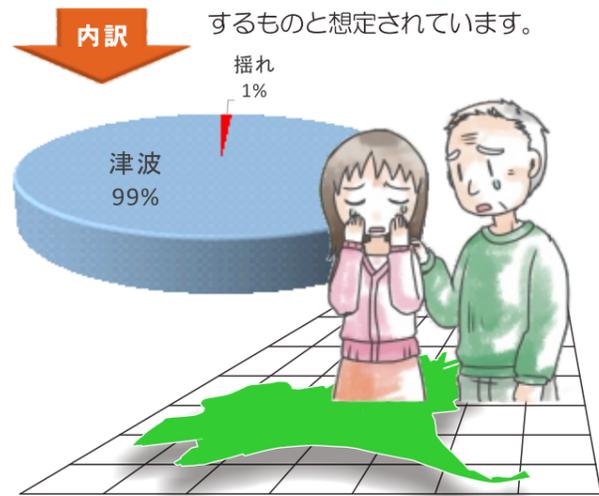


松茂町で想定される地震の規模など

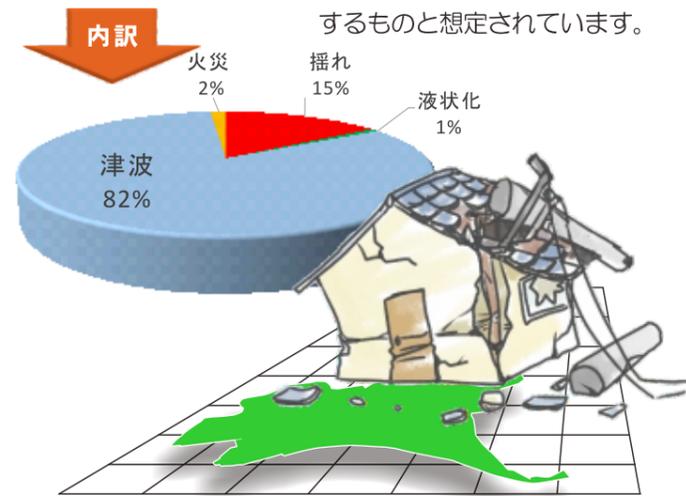
マグニチュード	想定震度	想定最大津波高	液状化危険度
9クラス	6強	6.2m	極めて高い

ひとやものの被害

松茂町では、**最大で約1900人が「死亡」**



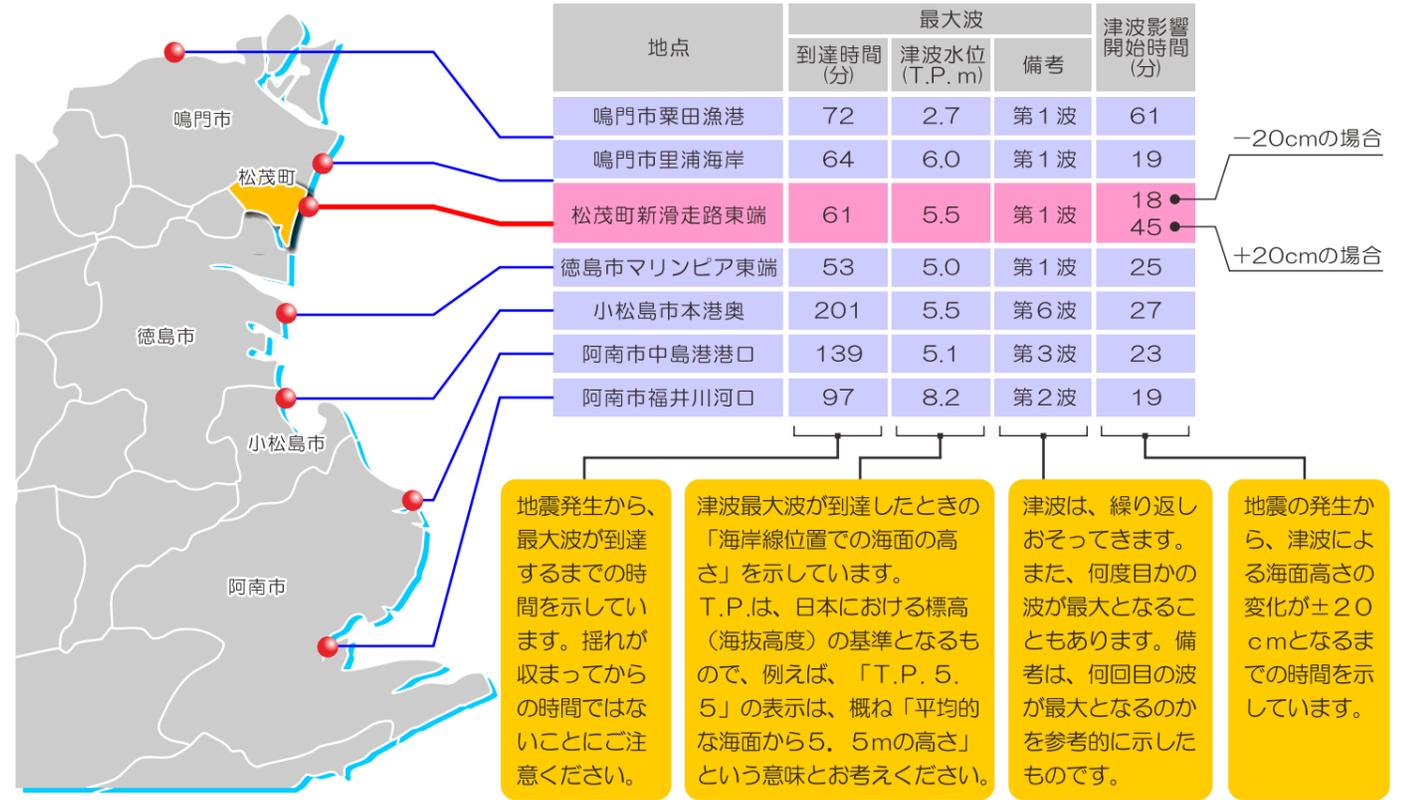
松茂町では、全建物数の**最大で6割近くが「全壊または焼失」**



※ 徳島県南海トラフ巨大地震被害想定（第一次）H25.7.31より

③ 南海トラフ地震

津波の発生



地震発生から、最大波が到達するまでの時間を示しています。揺れが収まってからの時間ではないことにご注意ください。

津波最大波が到達したときの「海岸線位置での海面の高さ」を示しています。T.P.は、日本における標高（海拔高度）の基準となるもので、例えば、「T.P. 5」の表示は、概ね「平均的な海面から5.5mの高さ」という意味とお考えください。

津波は、繰り返しおそってきます。また、何回目かの波が最大となることもあります。備考は、何回目の波が最大となるのかを参考的に示したものです。

地震の発生から、津波による海面高さの変化が±20cmとなるまでの時間を示しています。

津波警報（注意報）について

気象庁では、地震の発生から3分を目標に津波警報などを発表します。

津波警報や大津波警報が発表された時には、ただちに避難が必要です。「巨大」や「高い」のキーワードを見たり、聞いたりした場合には、非常事態と考えて、すぐに避難してください。

地震発生から3分を目標に発表

マグニチュード8を超える巨大地震などで正確な地震の規模がすぐにはわからない場合

正確な地震の規模がわかった場合

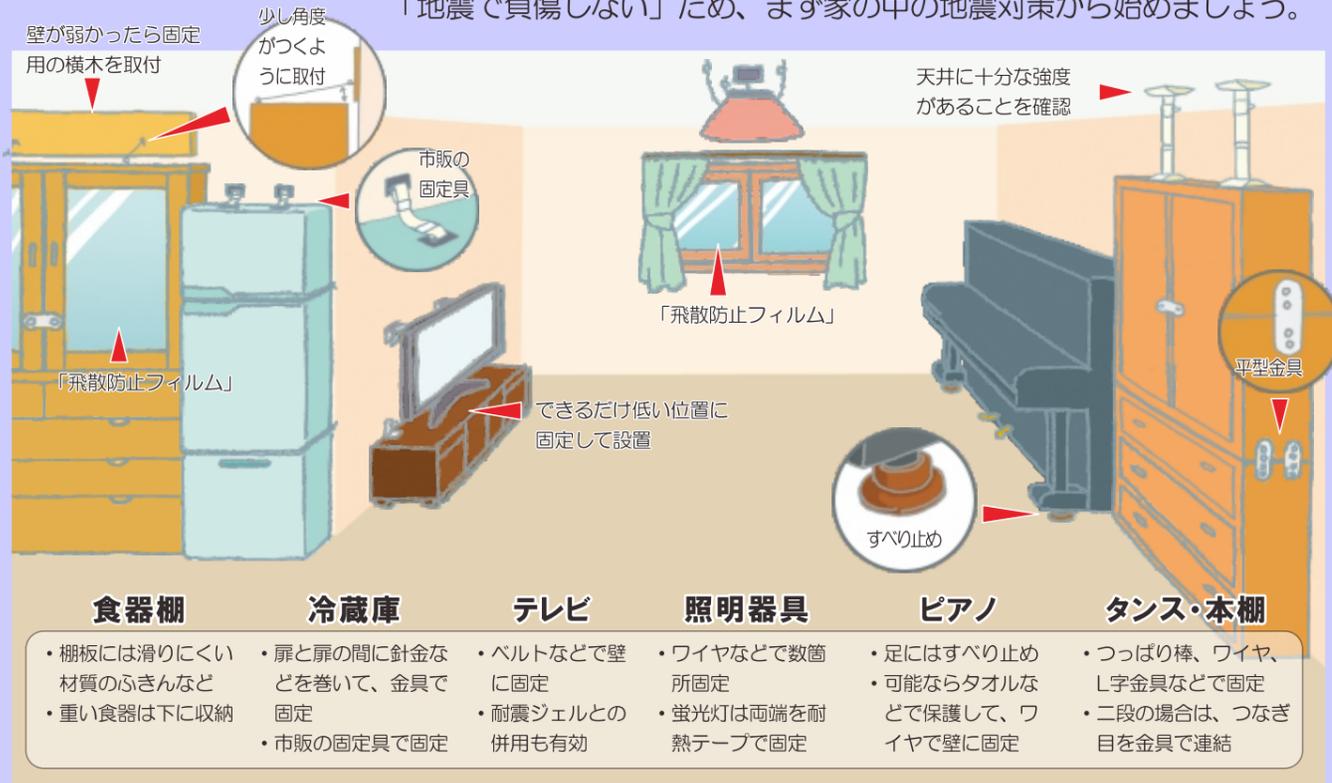
	想定津波高	発表時の表現	想定津波高	発表する値
大津波警報	3m以上	巨大	10m以上	10m超
			5~10m	10m
			3~5m	5m
津波警報	1~3m	高い	1~3m	3m
津波注意報	20cm~1m	表記しない	20cm~1m	1m

！ 予想や観測で発表される「津波の高さ」とは？



身近な地震対策

「地震で負傷しない」ため、まず家の中の地震対策から始めましょう。



食器棚	冷蔵庫	テレビ	照明器具	ピアノ	タンス・本棚
<ul style="list-style-type: none"> 棚板には滑りにくい材質のふきんなど 重い食器は下に収納 	<ul style="list-style-type: none"> 扉と扉の間に針金などを巻いて、金具で固定 市販の固定具で固定 	<ul style="list-style-type: none"> ベルトなどで壁に固定 耐震ジェルとの併用も有効 	<ul style="list-style-type: none"> ワイヤなどで数箇所固定 蛍光灯は両端を耐熱テープで固定 	<ul style="list-style-type: none"> 足にはすべり止め 可能ならタオルなどで保護して、ワイヤで壁に固定 	<ul style="list-style-type: none"> つっぱり棒、ワイヤ、L字金具などで固定 二段の場合は、つなぎ目を金具で連結

倒壊から身を守ろう！

松茂町では、町内の木造住宅について以下の要領で耐震診断、耐震改修の支援事業を実施中です。

耐震診断

- 対象住宅
 - 平成12年5月31日以前に着工された住宅（平屋から3階建てまでの住宅）。
 - 在来軸組工法や伝統構法により建築された住宅（木質プレハブ工法は除きます）。
 - 現在、居住している住宅（併用住宅、共同住宅・長屋、借家も含みます）。
 - 住宅の所有者が町税及び公共料金を滞納していないこと。
- 自己負担金
 - 一戸建ての場合は3,000円
 - 共同住宅等は6,000円

耐震改修

- 対象住宅
 - 松茂町が行った耐震診断で評点が0.7未満（倒壊又は大破壊の危険あり）と診断された住宅で、改修計画により、耐震診断の評点が1.0以上（一応安全）に改修する工事のもの（事前着工は対象外です）。
- 補助金額
 - 耐震改修工事（耐震改修関連工事以外は含まれません）の3分の2が助成され、助成の上限は60万円になります。それ以外の工事費は自己負担となります。
 - この他に、徳島県の「住まいの安全・安心なリフォーム支援事業」もあります。

申し込み方法や時期などの詳細につきましては「松茂町建設課」までご連絡ください。TEL088-699-8718

4日ごろの備え

避難時の装備や非常持ち出し品

以下の表は、基本的な品目の例です。このほかにも個人やご家庭の事情に応じて必要になるもの（粉ミルクやメガネなど）があれば、追加もご検討ください。

分類	品目	メモ	チェック
バッグ	非常持ち出し袋		
水	飲料水	一人1.5リットル程度（備蓄：3リットル／人・日程度）	
食	携帯食	チョコレート、キャンディー、栄養補給・調整食品など	
	非常食	乾パンなど、水・調理なしでそのまま食べられるもの	
装備	ヘルメット・防災ずきん・帽子など	頭を保護して逃げるもの	
	ホイッスル		
	手袋（作業用）		
	運動靴		
	懐中電灯	発電・充電式も参照	
道具	万能ナイフ類	ハサミ、ナイフ、カンキリなどの複合ツールが便利	
	予備電池・電源・充電器等	懐中電灯、携帯ラジオ、携帯電話用の電源確保	
	ロープ（10m）	救助、避難ばしごの代用、体重を支えられる太さ	
	携帯ラジオ	複合機能（ライト・携帯電話充電など）のものもある	
	携帯電話		
	連絡メモ・備えリスト		
情報	身分証明書（そのコピー）	健康保険証、運転免許証、パスポート、外国人登録証など	
	筆記用具（メモ帳とペン）		
	油性マジック（太）	伝言を書く	
	現金（10円硬貨含む）	公衆電話用に10円、100円玉が必要、携帯・自宅電話がつかない時	
救急	救急用品セット	消毒薬、脱脂綿、ガーゼ、ばんそうこう、包帯、三角巾などケガの手当て用品をひとまとめにする	
	毛抜き	とげ抜き、ピンセットとして使える	
	持病薬・常備薬	合わせて処方箋のコピー、お薬手帳も	
	マスク	防寒用としても重要	
衛生	簡易トイレ	非常時において、トイレにいけないことはかなり深刻	
	ティッシュペーパー・トイレトペーパー	トイレトペーパーは汎用性が高い	
	ウェットティッシュ	水がない時、役に立つ	
防寒	使い捨てカイロ		
	サバイバルブランケット	非常時の軽量簡易防寒具	
	ハンカチ（大判）・手ぬぐい		
	タオル	汚れの拭き取り、ケガの手当て、下着の代用等、高い汎用度	
汎用	安全ピン	タオルを留めて下着の代用として使うこともできる	
	ポリ袋	大小あわせて10枚程、汎用性が高い	
	ビニールシート類（レジャーシート・ブルーシート）		
	ライター（マッチでも）	暖房器具への点火などに、マッチよりも使い勝手が良い	
	布ガムテープ	多用途、屋外に伝言メモを貼るなど、利便あり	

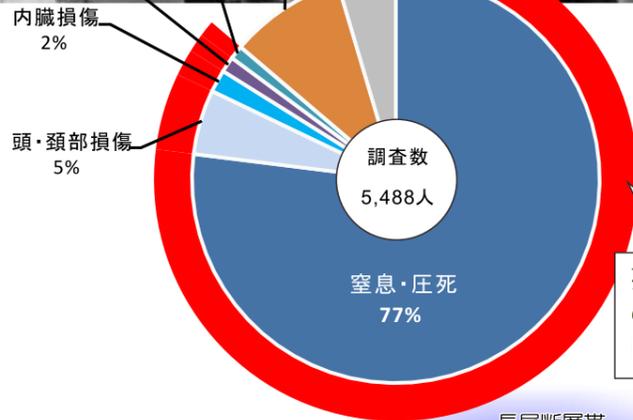
- 定期的チェック！（電池や食品など）
- 非常持ち出し袋は女性でも持てる重さに！
- これ以外にも「3日程度の生活に必要なもの」は備蓄しておきましょう！

倒壊から身を守る！

平成7年1月17日に発生した兵庫県南部地震（マグニチュード7.3、最大震度7）及びその余震による地震災害です。

6千4百人を超える死者、行方不明者は、その約9割が建物の倒壊や家具の転倒による「圧死」であったとされています。

外傷性ショック 1%
全身挫滅・挫滅症候群 1%
焼死・熱傷 9%
その他・不明 5%



【写真】(財)消防科学総合センター
http://www.isad.or.jp

資料
人口動態統計からみた阪神・淡路大震災による死亡の状況(厚生省大臣官房統計情報部1995.12)

死者の約9割が建物の倒壊や家具の転倒によるものでした。

内陸型地震の激しい揺れに注意



震災名	阪神・淡路大震災
地震名	兵庫県南部地震
発生日時	平成7年1月17日 5:46
マグニチュード	7.3
地震型	内陸型(直下型)
最大震度	7
被災地	都市部中心
震度6以上県数	1県(兵庫)
津波	数十cmの津波の報告あり、被害なし
被害の特徴	建築物の倒壊 長田区を中心に大規模火災が発生
死者・行方不明者	死者6,434名 行方不明者3名 (平成18年5月19日)
住家被害(全壊)	104,906
災害救助法の適用	25市町(2府県)

資料「平成24年版 防災白書」

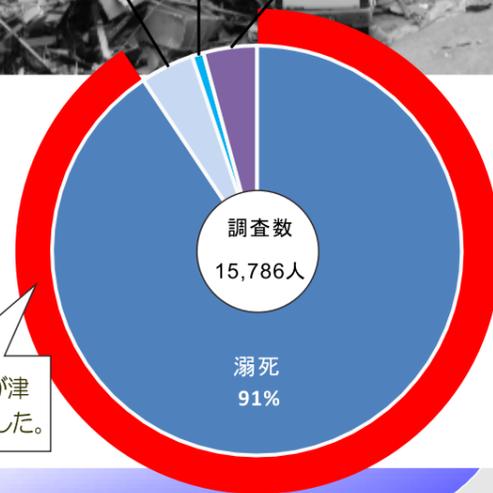
⑤ 阪神・淡路大震災

津波から身を守る！

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震（マグニチュード9.0、最大震度7）及びその余震による地震災害です。

死者、行方不明者が、あわせて1万8千人を超える大災害となりましたが、その最大の原因は、場所によっては標高40mまで遡上したとされる大津波でした。実に、死者の9割以上が「溺死」であり津波から逃げることの大切さを改めて思い知りました。

圧死 4%
焼死 1%
不明 4%



資料
東日本大震災による死者の死因等について
(平成24年版警察白書
平成24年3月11日現在)

死者の9割以上が津波によるものでした。

海溝型地震の強い揺れと津波に注意



震災名	東日本大震災
地震名	東北地方太平洋沖地震
発生日時	平成23年3月11日 14:46
マグニチュード	9.0
地震型	海溝型
最大震度	7
被災地	農林水産地域中心
震度6以上県数	8県(宮城、福島、茨城、栃木、岩手、群馬、埼玉、千葉)
津波	各地で大津波を観測(最大波 相馬9.3m以上、宮古8.5m以上、大船渡8.0m以上)
被害の特徴	大津波により、沿岸部で甚大な被害が発生、多数の地区が壊滅
死者・行方不明者	死者15,859名 行方不明者3,021名 (平成24年5月30日現在)
住家被害(全壊)	129,914 (平成24年5月30日現在)
災害救助法の適用	241市区町村(10都県) (※)長野県北部を震源とする地震で適用された4市町村(2県)を含む

資料「平成24年版 防災白書」

⑥ 東日本大震災

■津波防災ハザードマップの内容

- 津波想定規模（想定津波高、想定到達時間）
- 津波浸水想定（基準水位）
- 一時避難場所及び避難に利用可能なスペース
- 主要な避難路等の情報
- その他

■津波想定規模について

徳島県が想定した結果を示しています。

- 最大波（5.5m） 揺れははじめから61分
 - 海面変動（+20cm） 揺れははじめから45分
- ※徳島阿波おどり空港滑走路東端での想定値

■津波浸水想定について

徳島県が想定した結果を示しています。

最大クラスの津波の発生で想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

浸水深とは、陸上の各地点で水面が最も高い位置にきたときの地面から水面までの高さを示したものです。（下図参照）



※津波想定規模や津波浸水想定に関する詳しい情報は、徳島県ホームページ「安心とくしま」をご参照ください。

<http://anshin.pref.tokushima.jp/>

■避難路について

避難に適した道路として、緊急輸送道路及び主な避難路を示しています。

■地図の種類について

右の袋には大小2枚の地図が入っています。小さい方の地図は、「ご家族だけのハザードマップづくり」にお役立てください。

地震や津波の発生は防げません。
しかし十分な備えがあれば、被害を最小限にし、かけがえのない命を守ることに繋がります。

■津波避難ビル（津波避難場所）について

番号	名称	避難可能なスペース	収容可能人数
1	喜来小学校	2階以上+屋上	1,380
2	松茂町役場	2階以上+屋上	930
3	松茂町総合会館	2階以上	1,580
4	松茂町老人福祉センター	2階	220
5	松茂町地域子育て支援センター	2階	390
6	松茂町保健相談センター	2階+屋上	990
7	板野東部消防組合	2階	530
8	春叢園	屋上	520
9	松茂小学校	2階以上+屋上	2,480
10	松茂中学校	2階以上+屋上	2,870
11	海上自衛隊	3階	1,180
12	特別養護老人ホーム和光園	2階	320
13	三洋電機(株)松茂寮	2階以上の階段・通路	850
14	町営長原団地	3階共用部分	60
15	松茂町津波防災センター	2階以上+屋上	1,080
16	松茂町総合体育館	2階	520
17	吉野川育成園	3階の通路+屋上	460
18	なごみ	2階	150
19	富士ファニシア(株)ショールーム	2階以上	510
20	グラン・ドモール松茂	2階以上の階段・通路	290
21	町営中喜来団地	2階以上の階段	420
22	町営福有団地	2階以上の階段	80
23	町営笹木野団地	2階以上の階段	370
24	県営住宅松茂西団地	2階以上の階段	510
25	県営住宅松茂東団地	2階以上の階段	170
26	県営住宅松茂東団地	2階以上の階段	170
27	徳島県運転免許センター	3階展望デッキ・ロビー	510
28	職員公舎笹木野	2階以上の階段	80
29	自衛隊松茂宿舎	2階以上の階段	60
30	自衛隊八山宿舎	2階以上の階段・通路	390
31	自衛隊笹木野宿舎	2階以上の階段	50
32	自衛隊住吉宿舎	2階以上の階段・通路	160
33	徳島阿波おどり空港	3階搭乗待合室	130
34	ほのほのホスピタル	4階	840
35	ホテルソラエ	2階以上の階段	80
36	ビジネスホテルポケット	2階以上の階段・通路	210
37	ロジェ・空港通り	2階以上の階段・通路	100
38	フクボンファミリーマンション	2階以上の階段・通路	370
39	パールメゾン松茂	2階以上の階段・通路	340
40	コーポラスコクフ	2階以上の階段・通路	110
41	エス・フワール	2階以上の階段	60
42	エグゼ松茂	2階以上の階段・通路	100
43	エスチュアリー64	2階以上の階段・通路	440
44	松茂PA	パーキングエリア	640
45	長岸津波避難場所	四国横断自動車道の盛土斜面	210

松茂町津波防災ハザードマップ （袋入れ）

津波防災ハザードマップ

家族のれんらく先

家族の防災メモ

名前	電話		メール	メモ
	けいたい電話	仕事場・学校		

家族のひなん先

ひなん先をきめておきましょう。できればメモには歩いてかかる時間なども記入しておきましょう。

ケース	第1の候補		第2の候補	メモ
	場所	ひなん先の電話など		
つなみがくるとき とりあえずにげる 高い場所など				第1候補まで約()分
何日かひなんする 場合のひなん先				第1候補まで約()分

家族の役割

地震がおきたときの家族の役割をきめておきましょう。名前の横のらんにお印を記入します。

名前	出口を 確認	火元を 確認	家族の 安全を 確認	持ち出し 袋を探す	くつやヘル メット を用意	まわりの 様子を 確認	テレビや ラジオで 情報確認			

準備の確認

日ごろの準備ができているか確認してみてください。○×の記入でもかまいませんが、びちく品などは日付などを記入していただければいっそう効果的です。

びちく品			持ち出 し袋	家やへい の安全 確認	家具など の固定			
水や 食べ物	毛布などの 生活品	ヘルメット 軍手など						



この冊子に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

松茂町役場 危機管理室 電話 088-699-8725



このパンフレットは再生紙を利用しています。
地球にやさしい大豆油インキを使用しています。

松茂町 平成26年3月作成